

What's up,

OITA!

(どげえかえ、ふるさと大分!)



世界で活躍する県人会員と留学生OB、大分県関係者の皆さま方に、大分の「今」をお伝えします。

《Vol.30》2015年8月1日発行

【ご挨拶】 大分県企画振興部 国際政策課 課長 堀 俊郎
horisyunro@pref.oita.lg.jp

大分市では、7月24日以降は最高気温30℃を超える日が続く、夏真っ盛りです。7月13日 2:52に発生した地震も、鶴見の方で震度5強、大分市内で震度4と大きな地震でしたが、一部の軽傷者や落石等のみで済みました。ともかくも、7月から始まったJRデスティネーションキャンペーンや別府「混浴温泉世界」、8月から「進撃の巨人展」も始まり夏の観光シーズンです。



バックナンバーはこちら <http://www.pref.oita.jp/soshiki/10140/whatsupoita.html>



大分県の海外関連施策について



商工労働部
商業・サービス業振興課
課長

武藤 康彦
(Muto Yasuhiko)

【連絡先(Mail)】
a14300@pref.oita.lg.jp

商社連携による「大分県フェア in シンガポール」を実施しました

当課では、高い経済成長によりマーケットが急拡大している東アジアにおいて、安心・安全・高品質な県産品の販路開拓・拡大に取り組む県内企業を支援しています。

先般、海外戦略重要国の一つであるシンガポールの日本食レストランにおいて、祖峰企画(株)(本社:東京都)の現地法人kokonoEと連携し、大分県フェアを行いました。フェアの中では、大分県の酒造メーカーとともに、海外で評価が高まっている日本酒をはじめ、県産の焼酎、梅酒のプロモーションを行いました。ランチやディナーのお客様に試飲いただき、大変な賑わいとなりました。試飲したお酒の味わいや香りをとても気に入り、現地価格で1本1万円以上のお酒をその場で購入される方も多くいました。



↑来店客へ自社製品の特徴を説明したり、焼酎の美味しい飲み方を実演する各酒造メーカー(場所:和食レストラン「Tburu」)


大分県フェアの期間中、現地の小売・飲食店などを訪問し、販路拡大に向けた商談を行いました。個別商談会を企画いただいたkokonoEの高木氏のご尽力により、本県から参加した酒造メーカー7社全てにおいて、現地の日本食レストランや百貨店での商品の取扱が決まりました。経済成長が続くアジア市場での県産品の販路拡大のため、引き続き商社と連携しながら、商談会の開催や見本市への出展等に全力を挙げて取り組んで参ります。

大分県フェア in シンガポール概要

【日時】平成27年6月26日(金)～29日(月)
7月4日(土)～6日

【会場】現地の日本食レストラン 等

【行事】
・大分県の地酒の試飲会・即売会
・企業訪問及び個別商談会、市場視察 等




↑個別商談会の様子

海外大分県人会交流掲示板

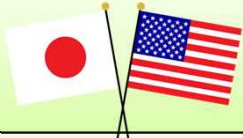


Taiwan
THE HEART OF ASIA

台中大分県人会が発足!

2015年6月、台湾中部の台中市で大分県人会が発足いたしました。発足メンバーは7名で、教育関係、企業駐在員、現地起業家等、多彩な顔ぶれです。発足懇親会では、まずは「あんたどこんしかえ?」から話が始まり、「小学校はどこやったん」「そん道知っちゃんで」...等々、方言丸出しの故郷ネタで大いに盛り上がりました。ここ台中には日本人が2,000人以上住んでおり、さらに大分の輪は広がるものと思われれます。大分に縁のある方であればだれでも入会できる、気楽な故郷コミュニティとして交流を図ってまいります。

【問合せ先】台中大分県人会事務局(丸尾貴彦)
zongdaibiao@hotmail.com



Welcome to OITA !

第25回日米草の根交流サミット2015・おおいた大会



日米草の根交流サミットとは

日米草の根交流サミットは、日本とアメリカで交互に開催している交流イベントです。これまで約4万2千人の日米の市民が太平洋を越えて参加しています。特徴は、年齢や職業、言語レベルにかかわらず誰でも参加できること。今回のおおいた大会では14～82才、計87人の米国参加者が大分県内各地でホームステイを通して草の根の交流を行いました。

7月7日から13日の7日間、第25回日米草の根交流サミット2015・おおいた大会が、別府市、大分市など県内11地域で開催されました。

87名の米国人参加者は、別府市周辺の観光の後、別府市内のホテルで行われたオープニングセレモニーに出席。8日からは、11地域に分かれ、3泊4日のホームステイを中心とした体験・交流プログラムに参加しました。また、12日には、大分県立美術館の見学の後、クロージングセレモニーが行われました。

クロージングセレモニーでは、各地域分科会毎に、米国参加者から体験発表が行われました。

セレモニーの後、行われたフェアウェルパーティーには、たくさんのホストファミリーも参加。次回大会の開催地アトランタでの再会とこれからの交流を誓い、涙ながらに別れを惜しみました。

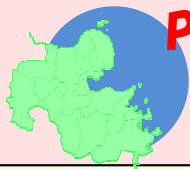
最終日13日には、県内ではめずらしく、震度4の地震が発生しましたが、大きな混乱もなく、参加者は、それぞれ次の目的地に向け大分を出発しました。

県では、この大会を契機に、各地で国際交流の輪が広がることを期待しています。また、米国だけでなく世界の国々との交流が盛んになることが望まれます。



参加者の声

- ・大分は本当にきれいです。すばらしい！
- ・とても暑かったけど、楽しかった。
- ・ホストファミリーのおもてなしは、とてもすばらしかったわ。
- ・大分みなさんに心から感謝申し上げます。



Pick Up! 大分の「今」

県内の出来事（7月）

News

【7月21日(火)】 マレーシアで日本食。別府市企業が支援

企業の海外進出を支援するクリエイティブ・プロジェクト(別府市)はマレーシアでお好み焼きやそばなど日本食に特化したフードコートの運営を始めます。フードコートはマレーシア第2の都市ジョホールバルのショッピングモールに立地。現地では所得の高い中国系住民やシンガポールの住民を中心に本場の日本の味への需要が高まっています。同社は、APUの東南アジア出身学生から味のアドバイスを受けられるなど独自の支援を行い、中小企業も海外進出できる仕組み作りを目指しています。



News

【7月14日(火)】 世界陸上ポルトガル代表が大分でキャンプ

8月に北京で開催される世界陸上選手権に出場するポルトガル代表の三段跳びチームが、大分市で事前キャンプを実施します。北京オリンピック金メダリストのネルソン・エボラ選手をはじめ、選手と監督、スタッフの計6人が参加予定。チームは8月6日～18日に大分銀行ドームでトレーニングを実施し、北京へ移動後、8月22日開会の大会に臨みます。ポルトガルにとって三段跳びは有力選手がいる注目競技であり、大分での有意義なキャンプを期待します。



News

【7月2日(木)】 JRと大分県が連携、DCキャンペーン始動

JRグループと大分県の行政や民間が連携した大型観光キャンペーン「おんせん県おおいたデスティネーションキャンペーン(DC)」が1日にスタートし、大分駅をはじめ、JRの主要駅で関連イベントがありました。DCは「いやします。ひやします。おんせん県おおいた」をキャッチフレーズに、9月末までの期間中、温泉や食、アートなど様々なイベントが各地で開かれます。



※国際政策課にて新聞等を元に作成

3名のALT(外国語指導助手)が「めじろん海外特派員」に任命されました！



今夏、任期を終了し母国に帰国するALT3名が、めじろん海外特派員に任命されました。任命式では、広瀬知事から、「引き続き大分県の児童・生徒を応援していただくとともに、本県の豊かな自然や食、温泉を、母国でPRしていただきたい」との激励がありました。



氏名:マーティン・ヤシンスキ
出身国:イギリス

めじろん特派員として、帰国したら大分県のすばらしさを語り続けたり、日本の文化についてのイベントを作ったり、大分との国際交流のためにがんばりたいと思います。大分に絶対戻りたいと思っていますので、これからよろしくお願いします！



氏名:マーク・トラン
出身国:アメリカ

大分での一番の思い出は大分県に住んでいる人たちの優しさです。困ったことがあってもみんなが絶対に助けてくれます。めじろん海外特派員として大分のことを色々な人に伝えようと思っています。



氏名:メーガン・イェーガー
出身国:アメリカ

私が大分に過ごした時間は、今までの一生で一番いい4年間でした。この経験をくれて本当に大分県の人たちに感謝しています。めじろん海外特派員としてがんばりたいと思います。



中国湖北省研修員による「私の大分☆見聞録」

中国湖北省から来県中の研修生が、大分県で体験した事柄をご紹介します。



7月10日の金曜日、朝から野田さんと李さんと一緒に白杵市にでかけました。白杵市には、国宝に指定されている「白杵石仏」があるのです。白杵石仏は、山肌の岩壁に刻まれているので、このような所をひたすら歩いていくのです。その日は、ものすごく暑い日だったので、大変でした。全部で60余体の磨崖仏があるそうなのですが、そのうちの59体が、1995年に国宝に指定されたそうです。平安時代から鎌倉時代にかけて彫られたと言われているようですが、詳しいことは、まだ、分かっていないそうです。千年ほどを経て、野ざらしだったそうです。そのため、傷みがかかなりひどい状態で発見されたそうです。仏頭が落ちていたり、苔とかも生えていたりしていましたが、石仏の穏やかな微笑に感動させられました。



氏名：陳瑾(チン キン)
所属：孝感市孝南区
外事僑務観光局

From our Reporters



県の国際交流員等が、旬なOITA情報をお届けします。



ミリアム・スターリング
(Miriam Starling)
県国際交流員
英国
pu101503@pref.oita.jp

友達と大分市の戸次にある「帆足本家富春館 レストラン桃花流水」という所でゴボウを中心とする料理を食べに行きました。ゴボウを食べたことがありませんでしたので、好奇心がありました。とても上品な食器があったし、食事の見た目も良かったです。私は野菜を食べるのが大好きなので、野菜たっぷりのゴボウ料理は非常に美味しかったです。デザートはレモンシフォンケーキとコーヒーでした。しかし、普通のコーヒーではなくて、カフェインなしのゴボウコーヒーでした！私の国では、ゴボウを食べるのは大変珍しいので、帆足本家に行く前においしいかどうかまったく知りませんでした。また食べたいなという気持ちになりました。



李 曉雪
(Li Xiaoxue)
県国際交流員
中国
pu101501@pref.oita.lg.jp

7月16日に、中国の泰山学院附属中学校・濰坊徳潤国際学校・威海第二実験小学校の生徒さん36名が、台風の中で大分県に来県し、別府市立北部中学校と交流しました。

台風11号の影響で、交流時間が短くなってしまいましたが、みんな自由に授業や校舎を見学することができて、とても楽しかったです。授業をしている教室を見学に行ったとき、別府の生徒たちが、ガラス越しに明るい笑顔で一生懸命に手招きしてきてくれて、大変感動しました。その場にいる生徒たちは年齢や言葉が違って、お互いに気持ちが通じたと感じたようでした。子どもたちは未来の希望で、もっと多くの交流を通じて心を開くことにより、両国の間でお互いに理解と尊重の種を深く埋めることができるだろうと信じています。



金 眞雅
(Kin Jina)
県国際交流員
韓国
pu101502@pref.oita.lg.jp

今年4月にオープンした大分県立美術館(OPAM)に行ってきました。竹工芸をイメージした外観はもちろん内装もとても素敵で、このようなお洒落な美術館が大分に出来てすごく嬉しかったです。

今回、私は開館記念展「モダン百花繚乱『大分世界美術館』」を観覧しました。美術にはあまり詳しくないですが、私も知っている有名な画家の作品もあり、とても興味深い企画展でした。この展示は7月20日までで、8月からは「進撃の巨人展 WALL OITA」や「『描(か)く！』マンガ展」が開催される予定です。

こちらも楽しみです。
私の好きな芸能人が雑誌の取材のためOPAMを訪れたようで、その足跡をたどりながら同じ場所で写真を撮る楽しみもありました！



なつかしい我が故郷～大分ふるさと写真館～

【中津市／日田市】



(中津市)
「競秀峰の景」
耶馬溪でも屈指の名勝



(中津市)
「耶馬溪アクアパーク」
水上スキー・ウェイクボード
などが楽しめる



(日田市)
「小鹿田焼の里」
1705年、柳瀬三右衛門
により開窯された



(日田市)
「オートボリスサーキット」
国内最大のバイク・
自動車レースを開催



話題提供のお願い！

県人会の活動(懇親会等)や留学生OBの近況など、世界中の大分県関係者に紹介したい話題をお寄せください！(様式は任意です)

【記事提供先／お問い合わせ先】
国際政策課 担当：平山(ひらやま)
【Mail】 a10140@pref.oita.lg.jp

